

浜松市天竜川水系「ドローン航路」 サービス創出ワークショップ

令和7年10月17日 開催

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアム

タイトル	浜松市天竜川水系「ドローン航路」サービス創出ワークショップ
開催日程	2025年10月17日（金）13:30~16:45
開催場所	浜松市福祉交流センター 小ホール（浜松市中央区成子町140-8）
参加費	無料
参加者	28名
背景と目的	<p>浜松市に整備されたドローン航路という地域資産について多様な参加者が議論を交わすことで、地域課題解決・住民のWell-Being向上に向けた新たなサービスアイディアの創出を支援することを目的とする。</p> <p>参加者は、浜松市の地域課題に対するドローン活用の可能性を探り、ユニークで実現を検討できる「アイディア」を創出する。</p>

参加者属性

- ・ ドローンセミナー参加者
- ・ コンソーシアム会員企業
- ・ ドローン利活用に関心のある市内外企業
- ・ 浜松市内の高専・大学・研究機関 等

グループ編成方法

『浜松版MaaS構想』の重点4分野「**ウェルネス・医療・福祉**」「**交通・物流**」「**産業・観光**」「**防災・安全**」から参加者の希望を提出してもらい、希望分野ごとにグループを編成（計5グループ）

時間	内容	
13:30～13:40	オープニング	ワークショップの目的共有・流れの説明
13:40～13:55	講演	株式会社トラジェクトリー 代表取締役社長 小関 賢次 氏
13:55～14:05	インプットセッション	浜松版MaaS構想 4 テーマに関する浜松市の現状について説明 各テーマの「現状・課題」について情報を整理する
14:05～14:40	サービスアイデア 創出セッション	STEP1：アイスブレイク（6分） STEP2：取り組むべき課題の選定（19分） STEP3：ユーザーの設定（10分）
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:35	サービスアイデア 創出セッション	STEP4：課題解決のためのサービスアイデア創出（30分） STEP5：発表準備（15分）
15:35～16:15	発表・講評	各グループからのサービスアイデアの発表 （1グループ5分発表・コンソーシアム共同幹事からの講評 3 分）
16:15～16:25	クロージング アンケート記入	
16:25～16:45	ネットワーキング	登壇者・参加者・行政間の自由交流と接点づくり

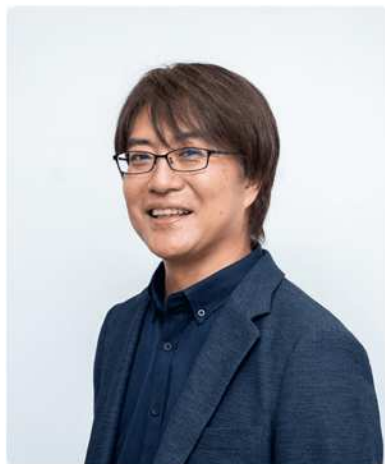
■テーマ

空のデジタルインフラとして整備する、浜松市天竜川水系のドローン航路

■講演の目的・ねらい

実際に浜松市のドローン航路に関わった小関氏から「実際に航路を整備した立場からの視点」で、どのような現状があるのかサービスアイデア創出に向けてどのような期待があるのかお話いただく。

参加者がワークショップに臨むにあたり、スムーズに議論に入っていけるように、ワークショップ全体のイントロダクションとしての役割を担う。



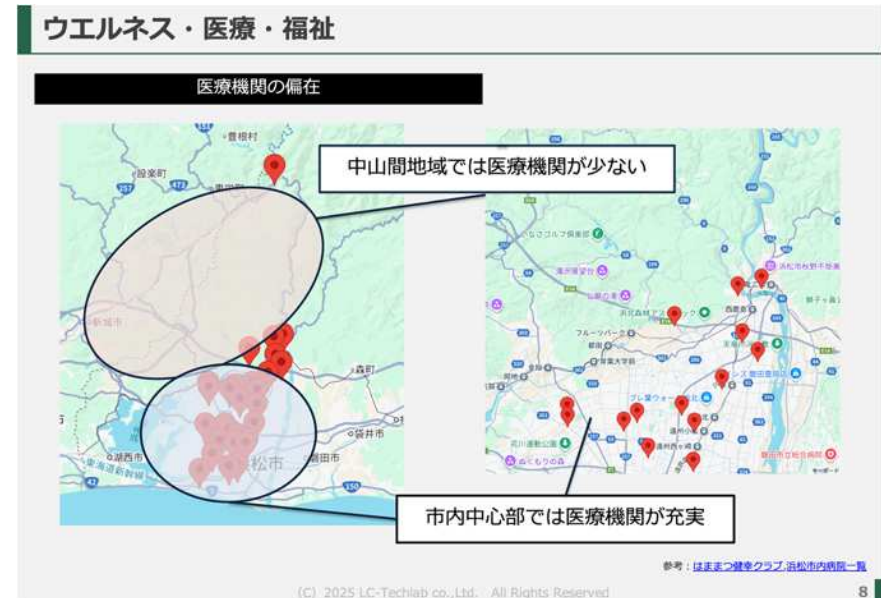
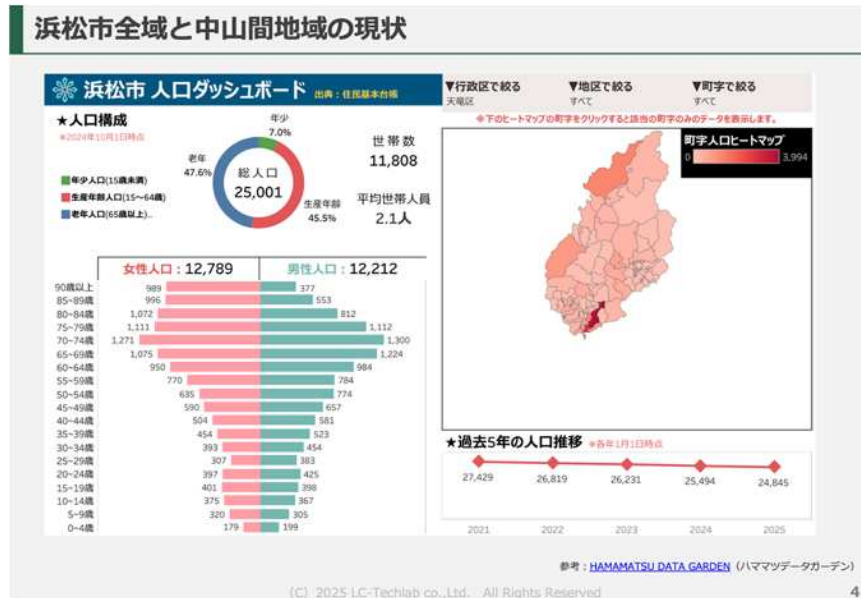
株式会社トラジェクトリー 代表取締役社長 小関 賢次 氏

国土交通省の航空管制システム開発に従事し航空機の追尾アルゴリズムや軌道推定アルゴリズムを開発、航空管制業務の自動化を推進し、空の安全に貢献してきた実績を持つ。

2018年に株式会社トラジェクトリーを創業。「IPA デジタルアーキテクチャデザインセンター（DADC）」4次元時空間情報基盤アーキテクチャ検討会委員、など複数の役職を担い、ドローンやエアモビリティの社会実装の実現にむけて活動している。



事務局から各グループのテーマ（「ウェルネス・医療・福祉」「交通・物流」「産業・観光」「防災・安全」）に関する現状と、その後のグループワークの進め方について説明。



<主な説明内容>

- ・ 浜松市全域と中山間地域の現状
- ・ 要支援/要介護の認定者数と生活習慣病疾患死亡者
- ・ 医療機関の偏在
- ・ 市内の交通/産業/観光に関する現状
- ・ 中山間地域における災害



STEP1

アイスブレイク（6分）

- グループメンバーでのコミュニケーションを円滑に進められるようにする。

STEP2

取り組むべき 課題の選定（19分）

- グループごとにワークシートを用いて、「地域にはどのような課題があるのか、どのような課題に取り組むべきか」について議論。
- その中で、特に取り組むべき課題を一つ選定する。

STEP3

ユーザーの設定（10分）

- STEP2で設定した課題の中で、関係するステークホルダーを洗い出し。
- サービスアイデアを考える上で、対象にするユーザーを設定する。



議論のサポート： 山ノ舎 代表 中谷明史（なかたにあきひと）氏

1990年浜松市出身。静岡県立浜名高校卒業後、進学のため上京、大学で醸造学を学ぶ。大学卒業後はバー勤務を経て東京R不動産に就職。2015年、天竜区二俣地区へ戻り、飲食店「kissa&dining山ノ舎」をオープンし、併せて「天竜トライアルオフィス」の運営に携わる。以来、地域の活性化や課題解決に尽力。

- 各グループを回りながら、主に天竜区の実情をお話いただき、サービスアイデア創出に向けた解像度を上げるための情報提供をいただいた。

STEP4

課題解決のためのサービスアイデア創出（30分）

- ・ ユーザーを巻き込んで実現したい未来（＝あるべき姿）のイメージについてブレインストーミングを行う。
- ・ 「課題」「ユーザー」を設定している中で、どのようなサービスが課題解決に寄与するかディスカッションを行う。

グループワークシート②

グループ番号：

STEP4	
■実現したい未来	
■サービスアイデア	

STEP5

発表準備（15分）

- ・ STEP4で議論した内容を発表用シート（グループワークシート③）にまとめる。
- ・ 出てきたサービスアイデアを整理し、発表するための準備を行う。

グループワークシート③

グループ番号：

STEP5		
■現状・課題	■ユーザーの設定	■実現したい未来
外出するにも公共交通手段が少ない	地域の高齢者	医薬品の受け取り自宅が可能になる
■サービスアイデア		
オンライン診療の普及	医薬品配送をドローンで実施	



各グループがサービスアイデアを発表。

講評者は、事業実現性の観点からフィードバックを行う。

例

グループワークシート③ グループ番号：

STEP5		
■現状・課題	■ユーザーの設定	■実現したい未来
外出するにも公共交通手段が少ない	地域の高齢者	医薬品の受け取り自宅が可能になる
■サービスアイデア		
オンライン診療の普及		医薬品配送をドローンで実施



1グループ5分

■講評（コンソーシアム共同幹事）

遠州鉄道株式会社

スズキ株式会社

浜松市

3分（各講評者1分）